



発行：社会福祉法人えどがわ
東京都江戸川区松島 1-40-18
発行責任者：田澤 茂

2012 年 12 月 25 日

第 5 号



「子どもの成長」



社会福祉法人えどがわ
副理事長 秋山 秀阿

(江戸川区認可私立保育園園長会会長)

「子ども主体の保育」「子どもに寄り添った保育」という事が言われて久しい現在の保育です。

しかし、その言葉にとらわれる余り、「子どもに流される」状態になっていないでしょうか？

子どもが何かをしたくないと言う。その時、「それでは、しなくてもいいわよ」という事では、必ずしも正しくない事があると思います。大事なことは、私たち保育者の願い(考え)を伝え続ける事だと思っています。

子どもの成長において特徴的なのは、子どもとの関わりが主に行われれば良い、という事ではなく、それと同等以上に保護者との関わりが重要になってくるといふ事であります。

保護者との正しい連帯なしには、子どもの成長は考えられないと思います。



「できるだけ子どもたちを叱らないで、育てたい」と思うあまり、「叱る」事を躊躇していないのでしょうか？

必要な時に子どもを「叱る」事をためらってはいけないと思います。もちろん、いつも叱れば良い、自分の思う通り子どもを動かせば良い、と言っているわけではありません。「叱る」とき、自分に道を求める思いがあり、子どもも、それを受け止められると考えるからこそ、「叱る」のではないのでしょうか。

子どもの成長の中で、特に心の成長を、あなた自身が、あなたの仲間が、あなたの園が、あなたの園の保護者が大切だと考える事の実践に自信をもって励んでいく事を望みます。



さわやか体育祭

江戸川区主催の第 40 回さわやか体育祭が 10 月 25 日に行われ、各おひさま保育園 8 園約 200 名の年長児が初参加しました。

おひさま保育園が、区立から法人へ引き継がれる中、保護者の皆様より「私立に移行しても是非参加を続けてほしい」との要望があり、実現の運びとなりました。

当日は、大勢の保護者の皆様も応援に駆け付けていただき、おひさま保育園として初めての合同企画が出来た事に対し、沢山の皆様方のお力添えのもと、素晴らしい体験をさせていただいたことに心から感謝申し上げます。

大きな広い陸上競技場で幼児から熟年者まで 3 世代にわたり、一緒に大玉送りや、かけっこ等に夢中になり、おひさま 8 園として初顔合わせにもかかわらず行ったソーラン節には盛大な拍手もいただき、子ども達も満足いくひとときとなり、さすが年長組だと更なる実感を得た 1 日となりました。

これからも、江戸川区の様々な行事におひさま保育園として参加し、安心・信頼してもらえる保育園づくりを心掛けていければと感じた一日となりました。

本当にありがとうございました。

(清新おひさま保育園 園長 高柳利枝子)



紅白に分かれ、三世代一緒に行った大玉送り。徒競走は全力で走りました。



ソーラン節はおひさま保育園 8 園の園児が練習の成果を披露しました。
大きな拍手をいただき、子どもたちも晴々した笑顔でした。

おひさまTOPICS

「春江まつり」 春江おひさま保育園



「ソイヤ！」と年長組の元気な掛け声でスタートした夏祭り。

ねじり鉢巻きにハッピーを羽織り、出番を待つその姿にこの時を楽しみにしていた子ども達の気持ちが伝わってきました。ドン・ドン・ドン！と太鼓の音。友達と顔を見合わせながら踊る子ども達。今年は東京音頭にも挑戦しました。

ヨーヨー釣り、くじ引き、輪投げ屋さんにお面屋さん。「いらっしゃい！」とお店屋さんになりきる年長児と、スタンプカードを持ちながら出店を回る子ども達。

恥ずかしそうに「これ下さい。」と言いながら縁日を楽しんでいました。子ども達の生き生きとした表情に、笑みがこぼれる 1 日でした。「先生、見て！見て！」嬉しそうに駆け寄ってきます。子どもたちと喜びを共感する瞬間です。

（保育士：長谷川 やよい）

「ほのぼの交流会」 新堀おひさま保育園

今年も晴天に恵まれ、園児のおじいちゃん、おばあちゃん総勢 43 名の皆様に保育園まで足を運んでいただきました。

まず、おじいちゃん、おばあちゃんと写真撮影。子ども達も恥ずかしそうに、でも嬉しい笑顔で手を繋いだり、抱っこしてもらっていました。写真はそう組さんが作ったキノコ型の写真立てに入れ、お土産になりました。



まず園児と手を繋いで入場。各クラスからの出し物にはたくさんの拍手をしていただきました。また、そう組のお友達はおじいちゃん・おばあちゃんと一緒に手遊びが出来て喜んでいました。その後各クラスに戻り、カプラ・ブロック・折り紙・粘土ままごと等日々子ども達が遊んでいるもので時間いっぱい楽しんでいました。



ほのぼの交流会はとても盛り上がり、家に帰ってからも話に花が咲いたようです。また、曾おばあちゃんも 1 名遊びに来てもらえました。これからも大切にしていきたい行事です。

（園長：森本 眞木子）

おひさまTOPICS

「夕涼み会」 東小松川おひさま保育園



毎年、7月の第3金曜日に行われる夕涼み会。3歳児クラスは手作りのお神輿を担ぎ、保護者の声援を受け、元気いっぱいに近隣を練り歩きました。

夕方からは4・5歳児が日頃から取り組んでいる和太鼓を発表。クラスが2チームに分かれ、それぞれ夕涼み会に向け、特訓を重ねてきた「おひさま太鼓」「なかよし

太鼓」「まつり太鼓」「みこし太鼓」の演奏を披露し、夕涼み会を盛大に盛り上げました。

今年はあいにく雨模様となり、恒例の盆踊りも室内となってしまいましたが、子ども達は存分に楽しみ、かき氷やヨーヨーすくいの模擬店も大盛況となり、夏しか味わえない特別なひとときを満喫しました。

(園長：森 佐知子)

「お寿司パーティー」 西小岩おひさま保育園

西小岩おひさま保育園では、食育イベント「お寿司パーティー」を保育園の特色となっている異年齢児交流「はっぴーデー」の一環として行いました。職人さんによって手品のようにお寿司が握られていく様子を子どもたちが目を輝かせながら、「すごいねー」と興味深く見つめている姿が印象的でした。



その日の給食では3～5歳児クラスの子



どもたちがグループを作り、職人さんに握ってもらったお寿司をおいしそうに食べていました。また、異年齢児交流ならではの小さな友達を気遣い、食事の手伝いをする微笑ましい姿も見られました。

これからも子どもたちが食に対し、興味を持ち、帰宅してからも親子の会話が弾むような楽しいイベントを企画していきたいと思います。

(保育士：安良岡 裕二)

おひさまTOPICS

「和太鼓」 葛西おひさま保育園



葛西おひさま保育園では特色の1つとして3歳児から5歳児が和太鼓による表現活動に取り組んでいます。

和太鼓を打つ、触れることを楽しみながら、友達と心をひとつに、リズムを合わせて演奏する心地良さが味わえるよう、稽古を重ねています。また、夕涼み会や運動会、おさらい会等、稽古の成果を発表する機会を設けることで真

剣さや集中力の向上を図り、目標を持って取り組む大切さも伝えています。

発表の場では粋な「はっぴ」に身を包み、威勢の良い掛け声と迫力のある和太鼓演奏で会場を盛り上げながら、一人ひとりの心身共に成長した姿を披露しています。

(保育士：市原 亮)

「東小岩まつり」 東小岩おひさま保育園

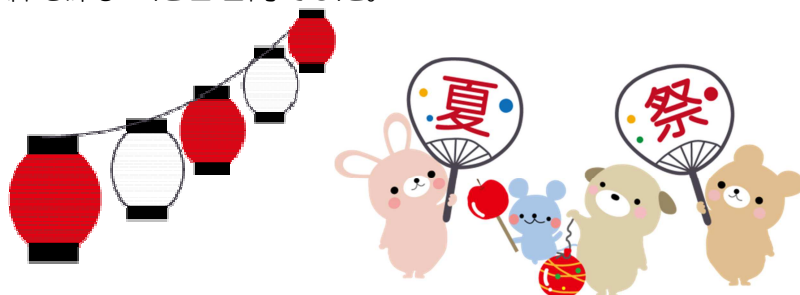
東小岩まつりは、前日の練り歩き・屋台風給食で始まります。近隣の方々の応援で、子ども達は張り切って「ワッショイ！ワッショイ！」と威勢よくお神輿を担ぎます。工夫を凝らしたお神輿は、子ども達の豊かな発想で作られ、よりお祭りを華やかにしました。当日のオープニングは年長組によるソーラン節でスタート！凛々しい姿は在園児の憧れです。お祭りが終わってからも



「ソーラン！ソーラン！」と小さなクラスから元気な声と、曲が聞こえてきます。『憧れの年長組』の影響は大きいと感じずにはいられません。

お店屋さんは手作り感たっぷり、ワニワニ・的あて・ヨーヨー・お面・かき氷屋・そして父母会によるサイコロくじなど、どこから回るかは楽しみの一つです。エンディングは保護者と職員の和太鼓の協演が恒例です。『子どもが心から楽しめる東小岩まつり』を周りの大人たちが一緒に考え、盛り上げます。保護者・地域の皆さんとの絆も深まった2日間でした。

(園長：橘田 真由美)



おひさまTOPICS

「運動会を終えて」

西篠崎おひさま保育園



秋晴れの 10 月 6 日に第 4 回運動会が行われました。今年の夏は暑かっただけに、運動会への取り組みも大変な苦勞がありましたが、運動会が近づくにつれ、どのクラスの子ども達も顔が引き締まってきました。皆で一つのものに向かってエネルギーを集中・爆発させていくことが、次の活動を高めていくことに繋がります。今回のテーマは『Let's Go Smile～

友情・勇気・家族の輪』。子ども達はカー杯頑張り、応援したり、力を合わせて行う競技では、言葉かけをしたりと、友達を思いやる心もしっかり育っていると思います。保護者恒例のクラス対抗綱引きも毎年熱を帯びてきています。勝敗がつき負けると「来年こそは」と力が入るようです。子ども達は進級すると「バルーンが出来る」「組体操があるよ」等、1.つ大きくなることの楽しみを持ち、運動会が終わると早くも「バルーンやろうよ」と心待ちの様子も見られるようになりました。暑い夏を乗り切って秋の訪れと共に取り組む運動会は、保育園にとって大きな行事です。日頃の全身運動(歩く、走る、くぐる、跳ぶ、よじ登る、押す等)を楽しみ雰囲気の中で年齢に合わせて自分の力を試して行ける運動会でした。

(園長：久保田 麻美子)

「てくてく遠足」

松江おひさま保育園

年長組や年中組に進級し、喜びにあふれて全てに意欲を持っている時期、5 月に遠足を行っています。第 3 回てくてく遠足の目的地は中央森林公園です。子どもの足で 30 分から 40 分かかります。「遠足」という響きだけでウキウキ嬉しいのは、何故だろうと考えたことがありますか？『保育園のいつも一緒にの友達とちょ



っと違った場所に出掛けると期待。』『背中に背負ったお弁当の楽しみ』この 2 つの、特に 2 番目の喜びは大きい物です。子ども達にとって嬉しいことは、素敵な感情です。嬉しい気持ちは元気とやる気の源になります。

年長組になったばかりのたいよう組は、1.つ小さいかぜ組さんをうまくリードしながら頑張って歩きました。嬉しくて何度も「お弁当まだ？」と保育士に聞く姿も。遊んでいるうちに雨が降り、慌てて保育園から合羽と傘をかき集め森林公園に駆けつけました。帰りは合羽の行列、子ども達は大喜び！大降りにならず、無事に帰れてほんとと安心のてくてく遠足でした。どれも楽しい思い出の 1 ページです。

(園長：澤田 美千恵)

おひさま会近況報告

おひさま会が発足し、おかげさまで 8 か月が経過し、会員数は 250 名となりました。5 月には園対抗ボーリング大会を実施、旅行もこれまでに 6 回実施し、各回とも趣向を凝らした内容に参加した会員からは「楽しかった」との声が聞かれ、親睦を深めることができました。給付事業としては、誕生日祝品や慶弔金等を行いました。

今後も職員相互の互助と福利厚生の実を充実を目指し、職員・法人が共に発展していけるよう活動していきたいと思ひます。

おひさま会会長 富澤義夫

社会福祉法人えどがわの防災について

平成 23 年 3 月 11 日の震災を教訓に各おひさま保育園では様々な見直しを行っています。これまでの避難訓練は地震・火災を想定していましたが、東京直下型地震から発生する津波を想定した訓練を行ない、非常食をはじめ災害時に必要な備品などを再確認しています。災害が発生した時、子ども達の安全を第一に守ることや、子ども達の不安を軽減するための対処方法を普段からの訓練において実践し取り組んでいます。「災害発生時の対応」「生活の場所を確保」「生活の維持」の流れの中で、保護者への引渡し



を行なっていくきます。保護者の皆様もまずはご自身の身を守ることや二次被害に遭わないよう注意が必要です。災害はいつ起きるかわかりません。保育園でできることは最大限の努力を図っていきますが、是非、ご家庭でも災害時の取り決めを話し合ってみてはどうでしょうか。

北葛西おひさま保育園 園長 山岡敏夫

おひさま保育園園歌を募集します

社会福祉法人えどがわが設立されて 10 年、皆様方のおかげで 6 月には創立 10 周年記念式典が開催することが出来ました。これを機におひさま保育園の子ども達に、夢や希望を与え、卒園後も保育園を思い出していただけるような園歌を作成することとなりました。そこで子ども達や地域の皆様に親しまれ、歌い継がれるような園歌を公募いたします。

- 1 募集要項 おひさま保育園らしい、可愛く元気なイメージの曲
子ども達に親しみやすく、保育園のシンボルになる楽曲

- 2 募集期間 平成 24 年 12 月 25 日～平成 25 年 1 月末日

- 3 募集方法 楽譜等を添え、記録メディアの指定はありません。歌詞、曲のみも可

- 4 選考方法 おひさま園長会を通じて選考。最終選考は理事会が決定いたします。

- 5 選考結果 平成 25 年 3 月の法人誌「おひさま」にて発表予定

- 6 そ の 他 応募作品の返却はいたしません。採用作品の著作権は、社会福祉法人えどがわに帰属いたします。

応募先等ご不明な点がありましたら、各おひさま保育園までお問い合わせください。



[illegible]

給食室の人気メニュー **ビビンバ**丼

❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀



提供:シダックスフードサービス株式会社



編輯委員

